



# むぎの郷 通信

“麦の郷とは”住民のニーズから  
生み出され、住民の手によって育てられる

October 2018

ソーシャル ファーム ピネル/くろしお作業所/麦の郷訪問看護ステーション/麦の郷居住福祉事業所/はぐるま共同作業所/はぐるま共同作業所 和の社/はぐるま共同作業所 ラ・テール/けいじん舎/麦の郷印刷/障害者就業・生活支援センター つれもて/麦の郷 和歌山生活支援センター/麦の郷紀の川生活支援センター/ハートフルハウス 創/むぎピース/障害児者サポートセンター「麦の郷」/こじか園/第二こじか園/こじか親子教室/ソーシャルファームもぎたて/Po-zkk/六星舎/叶夢向/事務所/麦の郷障害者地域リハビリテーション研究所

揮毫：伊藤静美

発行/麦の郷情報管理委員会  
〒640-8301 和歌山市岩橋643

TEL(073)474-2466 FAX(073)474-4637  
<http://www.muginosato.jp>



はぐるま共同作業所 結い  
プール合宿 9.13(木)~14(金)



むぎピース きょうされん全国大会in京都  
仲間の観光 9.21(金)-22(土)



こじか園  
うんどうかい 10.7(日)



くろしお たんぽぽ班  
旅行 10.18(木)-19(金)

## 私たちのめざすもの ~麦の郷4つの理念~

- 1).麦の郷は、日々学び、育み、発信し続ける人材を育成し、地域福祉の発展を目指します。
- 2).私たちは、ものづくりを通じて障害のある人と地域の共存を実現し、互いに豊かになる実践を目指します。
- 3).私たちは、社会的不利の状態におかれている人々の課題を解決するために、広範な人々をつながりを深め、ともに社会変革をめざします。
- 4).麦の郷は、全ての人が平和で安心して暮らせる社会づくりのために人の輪を紡いでいきます。



# 台風21号9月4日(火)による 被害と防災について

「57・4メートル」

近畿地方を台風21号が通過した2018年9月4日13時19分、1940年以来観測史上1位の最大瞬間風速を和歌山市で観測しました。

風速57メートルとは、時速で205km、風圧は1㎡あたり162kgの力になるのです、平均的体格の男性の体に時速とともに162kgの力が加わることとなります。

この猛烈な風を伴った台風が和歌山県にも甚大な被害をもたらしました。

1名が死亡、31名が負傷し、家屋倒壊やトラックの横転、電信柱や信号の倒壊なども相次ぎ停電も32万戸にもおよび日常生活に大きな影響がでました。農林水産関係の被害も大きく、塩害や果実の落下等被害総額が50億円にのぼっています。(9月18日時点) 今後時間経過とともに、被害が明確化するご予想されます。

麦の郷では、作業プレハブの全壊、玄関門の倒壊、外壁破損、窓ガラスの破損、車の破損、雨漏り、停電などの被害が19事業所にもおよび、グループホームのすべてが停電し数日間は復旧しなかつたので、法人内の復旧した他のホームに避難する事態にもなりました。(仲間、職員にとっては結果的に実体験として、良い体験となりました。)

ただ、台風21号では、物的被害はあったもの

しが立たない状態です。今後もしつ台風や地震が起こるかわかりません。あちこちダメージを受けているのでヒヤヒヤしていますが、今回の被害から学び、発電機や懐中電灯はすぐ使えるように出して置いたり、ヘルメットなども購入し事前の対策を行いました。

(ハートフルハウス 創 森橋 美穂)

## はぐるま共同作業所 和の杜

和の杜では台風21号による停電の影響で2日間の休止と、風によって自転車置き場のカーポートが全損する被害が出ました。今後の対策としては、停電時に備えての発電機の導入や太陽光発電の非常時の活用、またカーポートを建物に固定するアンカーボルトを前回より更に深く打ち込むことで強度を高める工事を実施する予定です。(はぐるま共同作業所 和の杜 大末 翔平)



## 麦の郷印刷

麦の郷印刷では、事務所と印刷工場がある府中の建物は大きな被害はありませんでしたが、印刷加工場とB型作業場がある六十谷の建物では、入り口のシャッターが干切れて飛んでしまい、2階の窓ガラスが割れてしまいました。幸いシャッターは隣の畑に落ちていて周りに

の、人的被害が無かつたのが幸いでした。

「何かおかしい・何か違ってきている」みなさんが感じ始めた感覚ではないでしょうか。よく祖父からは四国と紀伊半島の間を通過する台風には気を付けなさいと言われました。また過去には室戸、第二室戸など甚大な被害をもたらした台風もありましたが、ここ何年かは台風の勢力の拡大、台風の増加、紀伊半島大水害のような異常な雨量、時間雨量100ミリを超えるゲリラ豪雨など、あきらかに気象を取り巻く状況が「凶暴化」し、私たちの生活を常に脅かしています。

私たちも、気象の凶暴化に対応して行かなければなりません。想定外では済まされません。「防災」には大きく3つの考え方があります。できるだけ自然災害による被害を出さないようにする「災害予防」(耐震補強・防災教育・訓練など)、自然災害の発生または起きてしまった場合に被害をなるべく小さくする「応急対策」(応急手当・初期消火・各種警報・避難所運営など)、そして災害による被害から立ち直る「災害復旧」(被災者支援・復旧工事など)の考え方で、法律・制度上の概念です。

シンプルに「防災とは、自分が自然災害等から守りたいもののためにとる、あらゆる行動のこと」、防災とは「具体的な行動」であると言う考え方が広まっています。防災グッズを用意するのも、避難訓練も、話し合いも、懐中電灯を用意するのも、「行動」すればすべて防災です。「守りたいものを守れるかどうか」、守りたい

被害を出すことはなく、入り口近くの荷物等も浸水に備えて少し建物の中の方に移動させていたので被害はありませんでした。

2階の窓も休憩室の窓だったので、ガラスの飛び散りや雨水の吹込み等はありませんでした。大きな機械等に影響はありませんでした。



台風24号の襲来前にシャッターは修理してもらいましたが、配送用の軽バンをシャッターの前に横付けし、風の被害を受けないよう対応しました。また、2階の窓にもテープを貼り割れも飛び散らないようにしました。今回、他の事業所や取引先の企業さんなどでも様々な被害が出ています。それらを教訓とし、起こりうるごとの予測をして対策をしていくことが大事だと感じたいと思います。

(麦の郷印刷 長谷 理世)

## 「忘れないう」

台風21号の被害を受け、

休所中に学んだこと

9月4日非常に強い台風21号が上陸、各地に甚大な被害をもたらしました。くろしお作業所でも4日〜7日までの間作業所を休止しました。幸いにもくろしお作業所の停電・断水は約2日ほどで復旧はしましたが、地域の電線が切れて垂れ下がっていたり、市内の信号機の停電

いものを守れなかつたら地域や、日本中が無事だとしても私たちの「防災」はできたとはいえないのです。

経験を教訓に、これからも麦の郷安全対策委員会(MAT)は具体的な提起をもっと発信し、行動に換える事が早急の課題です。

(麦の郷安全対策委員会 浦口 裕成)

## 各事業所より

### ハートフルハウス 創

2012年より築100年の古民家山崎邸を活用するため、地域の皆様や関係者の方など多くのご支援を頂きながら少しずつ修繕を重ね、創の活動やカフェの営業、また沢山の人が集まり、つながり合う地域の拠点になるような取り組みを行ってきました。

しかし、この度の台風21号の強風によって、山崎邸のシンボルともいえる大きな門が倒壊しました。

それだけではなく、瓦が剥がれ落ちてあちこち雨漏りしたり、カフェの天窓や窓ガラスが割れてカフェ中ガラスの破片と雨風が吹き込んで泥まみれになりました。

自分たちでできる所は皆で修復や掃除をして度重なる台風にも備えましたが、被害が大きく門や屋根瓦の修復はまだ見通



が多く、送迎利用の仲間の方が多いくろしお作業所としては、危険箇所が外部にあまりにも多いと判断したため、やむなく休所に至りました。2日で停電・断水は復旧したものの、電気や水のありがたみをひしひしと感じました。そこで今後このような被害にあつた場合にどのような対策を取ればいいのか職員間で話し合い、9月7日(金)に、急遽防災の学習会を行うことになりました。もし電気や水道が使えなくなつた場合：を想定し、まず食料はどうしよう？という意見が多く、くろしお作業所の備蓄倉庫には精米したお米がたくさんあるので、発電機、電気調理器、ガスコンロ、鍋、ジップロック、非常水を使いご飯を炊いてみることにしました。ジップロックに米を一合入れ、沸騰した鍋の中に入れ待つこと20分〜30分で柔らかいご飯が出来上がります(ジップロックの中の空気は抜いて、なるべく密封状態)。くろしお作業所では、日頃から防災の学習に積極的に取り組む、非常食作り、新聞紙で器作り、簡易トイレ作りなど、職員からの情報や、保護者の方からも情報を頂き、全員で共有し実践してみること自分たちのものとしてしています。今後どのような被害に見舞われるか分かりませんが、そのようなことが無いのが一番ではありますが、一人一人の意識・知識を高めていくため今後もこのような学習会を重ねていければと思います。



(くろしお作業所 川崎 愛香)

きょうされん

### 第41回全国大会 in 京都

#### なかま輝くきょうされん大会!

9月21日(金)22日(土)、「第41回きょうされん全国大会in京都」が京都国際会館で開催されました。全国から集まったのは5500人の参加者。これまでの最高の人数だそうです。今回の大会で、特に心に残っていることを挙げたいと思います。

私は、利用者交流分科会の「健康」の分科会に参加しました。全国のなかま同士のつながりができるようにと自己紹介タイム。初めは緊張して静かだったグループもそこはさすがなかまたち、次第に打ち解けて、いつの間にか和気あいあいとした雰囲気。そして、机に向かうだけではもったいない!健康のために体も動かそう!と、ラジ体操やエビカニクスの体操も行いました。なかまが自分の健康について、がんばっていることや困っていることをレポートに書いてきて発表したり、作業所の日課で取り組んでいることを伺ったりと、なかまたちの声を聴くことができました。その中でも印象に残っているのは、なかまたちが主体的に取り組めるようにと、作業所に「保健委員会」を立ち上げている事業所があるそうです。委員はもちろんなかまです。なかまが自分で健康について意識できるようにと取り組まれているそうです。全国大会に参加して、なかまたちが自分ら

しく生活している一部を見聞きさせてもらいました。また、なかまが自分の想いを伝えることの大切さを再確認してききました。



その分科会の司会をしたのは、麦の郷のなかまです。当日もとても緊張しながらも頑張っている姿は、彼女の輝いているひと時でした。次年度の全国大会は愛知で、そして再来年の2020年は、和歌山で開催されます。その時も、なかまたちの輝いている姿が見られますように。(くろしお作業所 道幸 美也子)

### 『ゆめ・やりたいこと 実現センター』 設立シンポジウム

麦の郷は、文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」を受

くと、それが豊かさにつながっていく。」という発言もありました。障害のある人の生涯学習や余暇活動は、今までも地域や麦の郷でそれぞれに行われてきました。今後その活動をみんなで大切に育てながら、今までつながっていなかったところとも連携し、さらに広げていけたらと思っています。

10月からは『夕刻のたまり場』を開設し、作業所などでの仕事の後にゆっくりできる場を作るとともに、障害のある人のニーズをもとに様々な講座を企画しています。これからの活動を障害のある人を真ん中に、多くの人たちと創っていただけることを楽しみにしています。そして、障害のある人だけではなく、まわりの多くの人たちの『ゆめ・やりたいこと』も一緒に実現していける場になることを願っています。(ゆめ・やりたいこと実現センター 藤本 綾子)

### 仲間が描いた文字のエコバッグ、JR和歌山駅で販売

個性あふれる文字を日々描き続けている「くろしお作業所」仲間の岡田弘央さん。5年前には、アートサポートセンターRAKU(運営共助のまちづくり協会)の取り組みとコラボして、岡田さんの文字を生かしたエコバッグが誕生しました。和歌山で生産される20種類の柑橘



名がヒロチカさんの文字で描かれ、可愛いミカンの形にデザインされています。イベントや注文等で販売を続けてきましたが、このたびJR和歌山駅構内の「おみやげ街道」店頭で、販売していただける事になりました。JR西日本が、食品以外の「和歌山らしいおみやげ」を探してあられる中で実現。販売コーナーには、障害者の表現活動を紹介するシートも掲示してくれています。税込み670円のヒロチカエコバッグ(A4サイズの薄いファイルが入ります)は、売れ行き好調のことです。

岡田弘央さんが毎日楽しんで描いている文字の魅力を発信できることは、最高に嬉しいです。それに加えて、販売手数料が収入につながることに意義を感じています。9月〜11月の試行期間で、今後販売が継続するかどうか決まります。皆さん、JR和歌山駅中央口の「おみやげ街道」(無休/7時〜21時)でヒロチカエコバッグを見つけて、ぜひ購入してください。また、お知り合いにもご紹介下さい。ご協力よろしくお願ひします。(麦の郷訪問看護ステーション 島 久美子)

話し、『ゆめ・やりたいこと実現センター』を8月にスタートさせました。そして、9月26日には設立シンポジウムを開催し、50名を超えるみなさんにご参加いただきました。

このシンポジウムで、文部科学省障害者学習支援推進室長の高見暁子さんに事業説明等をしていただく中で、「支援する・される」という関係ではなく、「一緒に」という姿勢が大事であることや、障害のある人の思いを汲みながら生涯学習と福祉の融合ができれば」と話されました。また、障害者の豊かな青年期を考える会の松下喜美代さんと麦の郷の田中秀樹理事長からは、今までの活動や今後への期待が語られ、和歌山大学名誉教授の堀内秀雄さんは、まともの中で福祉は教育の母であり教育と福祉は助け合う必要があると話されました。このシンポジウムで、福祉と教育の縦割りではなく願いやニーズをもとに活動していくことが何より重要であることを再確認しました。また、フロアからは「1+1=2ではなく、3にも5にもなる。」「小さな物語をたくさん紡いでい



### \*むぎ・わくわくレポート6\*

私は去年、ピネルに入職しました。その際に与えられた現場の仕事は洗濯機を回すことでした。私は人に頼ることなく、自分の仕事は全部自分でやっています。所長に「みんなが仕事しているんだから、仲間にも頼りなさいよ」と言われました。しかし、仲間は全員私より年上。私は年上の人に頼み事をする勇気がなく、頼らずにやっていました。

しかし、慣れない仕事にがむしゃらにやっていた私は気づけばグロッキーな状態になっていました。それでも頑張らなきゃ。洗濯機から洗濯物を出そうとしたとき、「勝山君、これ出したらええんやなく」と言っていて、仲間がグイグイと私と洗濯機の間を割り込んで洗濯物を出し始めました。他の仲間も「どんどん言ってくれたらええんやで」と言っていて、私が豊んでいた布団を畳み始めました。

ここは年齢や立場関係なく、みんなが頼りあい、助けあって仕事をしている。私はこの出来事から大事なことを学びました。

(ソーシャルファームピネル 勝山 陽太)

### こむぎだ！ 焼き肉だ！カラオケだ！！

10月5日(金)、こむぎの郷へデイキャンプに行ってきました。このデイキャンプに行く3週間前、仲間の自治会が開かれ選挙によって8年ぶりの新役員が決まりました。その翌週の自治会ではデイキャンプで食べたいもの、やりたいことの希望を出し話し合い、買い出し班と調理班を決めました。その日が近づくと皆ウキウキ♪そして前々日には野菜買い出し班が「考えて、吟味して買ってきただよ」と色々な野菜を買って来てくれ、肉買い出し班は大量の肉を買って来てくれました。調理班は前日午後からお菓子工場の作業場で焼き野菜セットを作るため、それぞれの人が担当する野菜を選び洗って包丁を握りカッターをして思い思いの盛り付けをし、出来あがった6テーブル分の豪華な焼き野菜セットに思わず皆で拍手！こんな3週間前からの下準備があり当日を迎え、心配だったお天気も曇り空で時折青空も見えOK！で、みんなで4台の車に荷物を積み込んで、



いざこむぎの郷へ出発！！到着後これまたみんな準備をして好きな場所へそれぞれ座り、自治会長が「途中木が倒れていたりして、ここがどうなっているのか不安だったけど無事でこうやってお肉を食べることが出来てよかったです！」と挨拶し続いて副会長の「乾杯！」で宴が始まりました。みんなそれぞれがカラオケやバドミントン、ゲームなど思い思いの一日を過ごし無事に帰ってきました。この日、この一瞬、色々な事に感謝して！！また来年！！



(はぐるま共同作業所 岡畑 紀子)

### めんそーれ！ 宮里祐樹さんミニライブ♪

去る9月14日(金)、沖縄の三線奏者、宮里祐樹さんがくろしお作業所に来所され、三線のすばらしい演奏と惚れ惚れする歌声を披露して下さいました。  
宮里さんとは昨年の仲間の旅行(沖縄)で知り合ったのが縁で、その後も交流を続け絆を深めてきました。  
宮里さんは現在「日本一周ジャポマイ」という日本全国ツアーを開催中で、今回そのお忙



しい最中、わざわざ時間を割いてくろしお作業所に足を運んで下さいました。  
当初このライブは9月6日に予定されていたのですが、台風21号の被害により作業所が休所となり中止。もう会えないかと思っていたのですが、仲間の「会いたい」という想いが通じたのか、宮里さんもぜひ「和歌山の友だち」に会いたいと言って下さり、再会が実現しました。  
ミニライブは沖縄の古謡「安里屋(あさとや)ユンタ」から始まり、馴染みのある「涙(なだ)そうそう」、「島人(しまんちゅ)ぬ宝」、沖縄県の方ならみんな知っているという沖縄民謡「ていんさぐぬ花」など6曲を披露して下さいました。  
馴染みのある曲の時は自然と仲間が大きな声で歌ったり手拍子を打ったりして大盛り上がりでした。最後に「結(ゆい)まるる」と一緒に歌って踊り、宮里さんとの距離が最接近した頃にライブは終わりを迎えました。  
各班の仲間から感謝状や手作りの横断幕、お土産をお渡しし、最後に仲間代表からの熱い気持ちのこもったお礼の言葉を伝え、次回の再会を約束しました。

本当に

短い時間で、目も閉じて三線の音色と宮里さんの歌声

に耳を傾けていると、まるで沖縄を旅しているような、夢のような時間でした。  
(くろしお作業所 松岡 崇治)

### 休暇村 紀州加太で ランチだ！カラオケだ！！

9月15日(土)メンバー25名、職員5名の総勢30名で加太の休暇村に日帰りで送迎バスに乗って行って来ました！むぎピースへ10時に集合し出発！行くときは曇り空でしたがみんなの気持ちはルンルン♪でした。到着して玄関を入ると正面に大きな窓があり、そこからは紀淡海峡が見えてオーシャンビューにメンバーもはしゃいでいました。とてもきれいな景色でした。



宴会場で早速ランチ！お造り5点盛りや熊野牛セイロ蒸し、加太らしく鯛の小鍋、鯛ご飯、鯛天ぷら揚げ出し、まぐろのカマ焼き、茶碗蒸し、デザートなど盛りだくさんのご馳走を食べました！  
みんなのお腹がいっぱいになりながらも次はお楽しみのカラオケタイム♪好きな歌を歌ってワイワイ♪楽しい宴会でした！加太のお土産を

家族やホームに買つ人、ロビーでアイスクリームを食べる人、いつもと違う場所でおいしいものをたくさん食べてみんなが楽しめた日帰りレクでした。帰りはあいにくの雨でしたが、みんな無事に帰ってこることが出来ました。  
「楽しかった」「また行きたい」と早速次のレクを楽しみにしています。またみんなで楽しみたいと思います！(むぎピース 岡本 悠)

### つくし医療・福祉センター スペシャルコンサート

9月15日(土)和歌山つくし医療・福祉センターで、スペシャルコンサートがありました。重症心身障害児施設「岩出療育園」「桃山療育園」の2施設が統合され、和歌山つくし医療・福祉センターとして新たなスタートをきり、その時から、このスペシャルコンサートを始めて、今年で10回目となる記念のコンサートでした。

ステージでは、和歌山つくし医療・福祉センターの利用者の方や、NPO法人ロッツ、紀の川福祉会のメンバーさん達が歌やピアノ、ダンスを披露してくれました♪ステージ前は立ち見が出るほどたくさんの方たちが来られ楽しい時間を過ごしました♪  
麦の郷からは、ステージでポズック楽団のメンバーがチンドンのパフォーマンスをオーブニ



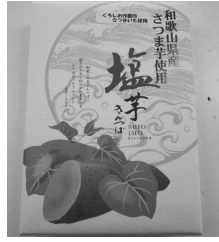
ングで披露したり、ステージを見に来られない利用者の方へパフォーマンスを披露するために各療育棟を練り歩きました♪出店のほうでも、くろしお作業所や和の杜、Pozzkkが参加しコンサートを盛り上げました♪くろしお作業所や和の杜も買い物に来られない利用者の方に販売するため、移動販売で療育棟を回りました。大盛況だったようで、くろしお作業所の職員が商品を補充するために急いで戻ってきていました(´▽`)

私自身は、今までこのスペシャルコンサートに来たことがなく、今年の異動で紀の川生活支援センターにきて、会議の段階から参加させてもらいました。何もわからないまま色々なことが進んでいき、どんなコンサートなんだろうとワクワクしながら、あたふたしながら準備をしていきました。コンサートが始まると、みんなの笑顔がとても素敵で、私もコンサートを楽しませてもらいました♪来年も楽しみです(´▽`)  
(麦の郷 紀の川生活支援センター 神田 宗忠)

### くろしお作業所 商品紹介

#### 塩芋きんつば(エコ班)

くろしおのシルクスイートきんつまいもを加賀百万石金沢の有名和菓子会社で作って頂いた商品です。  
1箱 700円です。



#### 缶バッジ(たんぼぼ班)

たんぼぼ班の仲間が描いた絵を缶バッジにしました。  
他にも種類たくさんありますので、お気軽にお問い合わせくださいね。



#### 焼き菓子(ひまわり班)

ソール(元分場)で作りました！  
バター不使用の商品もありますので、ぜひご相談ください。



- 焼きドーナツ……各100円
- パウンドケーキ…各160円
- シフォンケーキ…各150円
- ガトーショコラ 1カット 200円 等



ご注文はこちらまでご連絡ください。  
くろしお作業所 ☎ 073-462-2471

### 助成ありがとうございました

#### 社会福祉施設整備事業によるスプリンクラー設置工事完了

和歌山市、国による社会福祉施設整備費事業によりあいあいホーム、ひびきの郷、プラネットホーム、なでしこホーム、ぱーりーホーム計5箇所のホームにスプリンクラーが設置できました。

ホームにおいて火災時の避難訓練をすればするほど、夜間時や職員体制が不十分な時間帯に仲間の安全を守ることに困難を感じており今回の設置工事を申請しましたが、幸い全てのホームにおいて採択されたことは本当に感謝しています。

しかしスプリンクラーが設置されたからと安心せず、日々の防災対策や訓練を並行しておこない、仲間の安全管理に努めていきます。  
(麦の郷居住福祉事業所 武田 賢二)

このイベントはすべて参加費無料です！

第18弾 障害者週間 広がれネットワイク in 2018

みんなのつしよに希望のまちを地獄に

- 2回目みんなの願いを語る会 ~ 親の交流会 ~  
みんなのつしよにみんなの願いを語りましょう  
日時 12月7日(金) 10:00~12:00  
場所 岩波山福祉センター
- 地域福祉協議会障害部会 地域福祉を考える講演会  
【あいのよりあい】  
～しんじゆんじゆんといと見える地域づくりを考える～  
日時 12月7日(金) 13:30~15:30  
場所 岩出市総合福祉センター(あいあいセンター)  
岩出市社会福祉協議会 岩出市社会福祉協議会 岩出市社会福祉協議会 岩出市社会福祉協議会
- 広がれアートプロジェクト  
障害者で活動する障害のある人たちの自己表現を展示いたします。  
日時 12月8日(木) 8:45~17:30  
12月7日(金) 8:45~15:00  
場所 和歌山県庁 和歌山県庁
- 職員研修会 あいサポート研修  
様々な障害の特性を理解し、障害のある人が安心して生活できるようにするための実践的研修を行います。  
日時 12月14日(日) 18:30~20:30  
場所 岩出市総合福祉センター(あいあいセンター)  
講師 岩出保健所 南岡 貴弘
- ライブと講演  
【プログラム】  
■オープニング LOWESPACE 生バンド テムデザイン 手鼓コース  
■講演 【手話通訳者について】 和歌山県障害者支援センター 事務局長 藤井 貴典  
■ライブ オイカビ「目」で聴くライブ  
■出演 福祉団体の紹介や出演もあります  
日時 12月18日(日) 13:00~15:30(出演 12:00~)  
場所 和歌山県生涯学習センター かがやきホール

お問い合わせ先  
和歌山県生涯学習センター かがやきホール ☎0736-78-2808  
和歌山県障害者支援センター ☎0736-78-2807

平成31年(2019年) 麦の郷 年賀状印刷

ご注文受付中!!

ご注文はFAXでもOK!

年賀状印刷 承ります

麦の郷印刷

TEL 073-464-3707  
FAX 073-464-3708



六星舎 森 貴孝

子供のころ近くに更生施設(入所施設)がありました。同級生の友達に障害を持った子がいました…。気がつけば本当にいろいろな出会いがありました。

そして、無認可作業所(山田園)に約1年間住み込みをし、1990年10月社会福祉法人 希望福祉会(後に一麦会と合併)が運営する「あいあいホーム運営委員会」に専従として就職。面接での質問は学生時代に遊んだか? クラブ活動は何? そんな時代でした。

これまで、法人内でいくつかの施設を経験させていただきましたが、今の人達のように資格も知識もなく行き当たりばったりの実践だったように思います。失敗もしましたがそんな時はみんなが助け励ましてくれました。また議論と言う名の喧嘩のような討論、お酒を飲みながら朝まで、楽しかった思い出です。

麦の郷の良い所は自由な発想で何事にも興味をもってチャレンジすることが可能なところだと思っています。私はみんなが思う新しい麦の郷が見たいです。これからも素敵な麦の郷と一緒に作って行きましょう。